

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	254002	事業期間	平成 25 年度～平成 29 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
オープンアクセスジャーナルによる物 理学術情報発信強化の取組		一般社団法人 日本物理学会	会長 藤井 保彦
学術刊行物の名称			(略称)
Progress of Theoretical and Experimental Physics			PTEP

【平成 27 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
○ A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>高エネルギー物理学、原子核物理学、宇宙物理学の実験分野での成果を海外へ発信するための雑誌を持つことは、日本のこれらの分野の物理学者にとっての悲願であったが、それを成し遂げたことは、十分に評価に値する。</p> <p>今後は、国際共同研究の成果を PTEP に載せるための戦略が重要であろう。また、事業終了後の財務問題に関しては、国内の研究者からの支持が重要であり、一層の努力を期待したい。</p> <p>なお、優れた論文等の周知を目的とするメールやウェブ等での配信については、できるだけ定量的にその成果を分析することが望まれる。</p>	